

# 高齢者の肺炎球菌感染症予防接種についての注意事項

## 【予防接種を受ける前に】

### (1) 一般的注意

- ① 体温は接種を受ける医療機関で測りましょう。
- ② 説明書をよく読んで、気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に医師に質問しましょう。十分に納得できない場合には、接種を受けないでください。
- ③ 予診票は接種をしてくださる医師への大切な情報です。接種を受ける方が責任を持って記入し、できない場合は、身内の方に代筆してもらいましょう。本人の意思確認ができない場合は接種できません。

### (2) 予防接種を受けることができない人

- ① 明らかに発熱（一般的に、体温が 37.5℃以上）のある人
- ② 重篤な急性疾患にかかっている人
- ③ 肺炎球菌予防接種の接種液に含まれる成分によって、アナフィラキシーを起こしたことが明らか  
「アナフィラキシー」というのは通常接種後 30 分以内に起こるひどいアレルギーのことで、発汗、急に顔が腫れる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気、嘔吐（おうと）、声が出にくい、息が苦しいなどの症状に続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です。
- ④ その他、医師が不適当な状態と判断した場合

### (3) 予防接種を受けるに際し、担当医とよく相談しなくてはならない人

- ① 心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、血液等の基礎疾患を有する人
- ② 過去にけいれんの既往のある人
- ③ 過去に免疫不全と診断されている人及び、近親者に先天性免疫不全症の人がいる人

## 【予防接種を受けた後の一般的注意事項】

- ① 肺炎球菌ワクチンの副反応の多くは 24 時間以内に出現します。特に接種後 30 分間は健康状態の変化に気をつけ、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- ② 接種当日はいつも通りの生活をし、入浴してもかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

## 【副反応】

注射部位の痛み、赤み、腫れ、かゆみ等、頭痛、全身のだるさなどが主な症状で、通常 2～3 日で消失します。重篤な副反応として、接種後 4 週間頃までの間に非常にまれにショックやじんましん、呼吸困難、運動障害や意識障害、出血しやすくなるなどの症状が現れることがあります。体調に変化が生じた場合は医療機関に相談してください。

※ 5 年以内に再接種を行うと注射部位の痛みなどの副反応が強く出ることがあります。

## 【予防接種健康被害救済制度】

この予防接種を受けた後に重度の健康被害があり、この予防接種と因果関係があると、厚生労働大臣が認定した場合は、障がいの程度によって健康被害に対する給付を行う制度があります。

問合せ先

新居浜市保健センター

792-0811 新居浜市庄内町4-7-17

TEL (0897) 35-1070

FAX (0897) 37-4380